

学校運営協議会会議録(令和3年第5回)

学校名 大宮小学校

記録者 矢藤 健男

開催日時	令和3年10月16日(土)8:50~12:20
開催場所	大宮小学校 校庭
出席者(委員)	本川校長・降旗委員長・長谷川委員・玉村委員・吉村委員 齋藤委員・根岸委員・荒木委員
出席者(学校)	矢藤副校長
会議内容(次第順)	
【内容】	
1 運動発表会参観 2 協議	
主な意見	
【報告事項】	
<p>しばらくぶりに、児童がみんな集まっているところを見た。1年生から6年生まで、たぶん500人以上が一同に集まったと思う。ふりかえれば今から12年も前だが2009年、大宮小が全学年で7学級になり、区教育委員会の方が6名で大宮小にいらして「大宮小は適正配置対象校になります(要は統廃合の対象になります)」と言われました。たまたまその年のPTA役員だった私やそのほかの皆さんで何度も話し合いをして学童クラブを校内に誘致することや近隣の25の保育園幼稚園にチラシをもって「営業」を行ったりした。そんなことを思い出しながら本日の児童の皆さんの元気な姿を拝見させていただいた。</p> <p>限られた条件下で開催できたことはよかった。開催までの教員や子ども達の頑張りを感じた。保護者の協力と、当日の人の流れの円滑を見ると、子ども達、先生、保護者の各々の力が集結した心のこもった催しになったと思う。子ども達一人ひとりの体格や能力の差がありながら、一人ひとりの当日までの成長と、それを促す教員の指導が見受けられた。4年生のエイサーがコスチュームや太鼓、バチの統一性があり、演技として一体感と作品性を感じた。最後の6年生の代表の挨拶に、感動した。きっと、多くの苦労を経て本番にこぎ着けたことが理解できた。</p> <p>感染対策を講じての開催、大変だったと思いますが先生方の努力、子どもたちの協力によって素晴らしい運動発表会でした。全力で個の力を出し切る短距離走と皆で力を合わせる演技、各学年の成長が見られる良いプログラムだった。低学年は友達との距離感が難しい学校生活の中、表情が晴れやかだった。中学年は人数が多い中、揃って演技する姿は格好よかった。高学年になると短距離走は見応えがあったが、ゴールから走り抜けるスペースが狭いのが危ないと感じる場面があった。5年生の『和』は来年は自分達が最高学年という意気込みが感じられるクオリティーの高い演技だった。6年生の『日本の四季』の表現はとても良い体験になった。自分達で考え、作り上げた経験や感動を今後に生かしていけるとよい。子どもの創造力を育てるのはとても大切な事である。大宮小の子どもたちの一生懸命な姿、素敵な笑顔に感激した。</p> <p>児童一同が並んでいるのを久しぶりに見て、人数が増えたことを実感した。観覧に人数制限や入替制など導入しながらも、観覧者は少なくなかったように感じたので、今後、コロナが収束したとしても、学校公開も含めて自由に観覧するというのは、子供たちの安全を考えた上でも難しい。1年生は開会式の「誓いの言葉」があるので仕方ないと思うが、プログラムの後半過ぎてしまっているようだった。誓いの言葉は1年生でなくてもよいので、学年順に行うプログラムであるなら3~4番目の方が適切だったように思った。</p> <p>真っ直ぐに表現をし、走る子供達に感動した。入場から参観、退場と感染対策が工夫されていた。この様なイベントが行われることは非常に価値のあることである。新型コロナウイルスのダメージから社会が回復の方向に向かっているポジティブなイメージを感じた。保護者が日常では感じられない子供達の成長、子供が学んでいる環境を見る事ができる機会は大切である。保護者同士の交流も重要である。</p> <p>児童は基本マスク着用だったが、演技・競技のときにはマスクを外していたので、顔が見れてよかった。出番が終わったら、またすぐに着用することが徹底されていてよかった。マスク越しでは分からない子どもたちの様々な表情を見れてよかった。体操着は体のラインが出にくいものだったり(特に女子)買い換えも楽な安価で統一出来るものがよい。昔よりも体の成長も早いし、成長期なので何度か買い換えが必要になる。</p> <p>児童が増えてとても活気のある運動会だった。子供たちもコロナ対策をしながら元気に競技をしていた。6年生は係もしっかりと行い、競技も見応えがあり頼もしく思った。どの学年もきちんとしていて、先生方の指導の賜物と思った。リレーや大玉送りなど、全体で盛り上がるものがコロナ対策で出来なくて、少し残念だったが、コンパクトにまとまっていて、とても良い運動会だった。</p>	
【協議事項】	
なし	
次回の会議日程	
第6回	令和3年11月19日(金)13:40~学芸会6年生劇参観 14:30~委員会 新委員挨拶